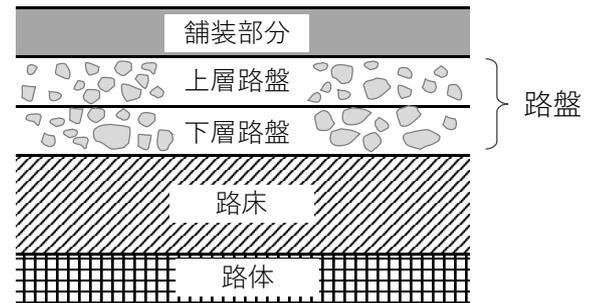




# 路盤材料試験

## 路盤材とは？

路盤とは、表層舗装部分の下に位置しており、上からの交通荷重を分散して路床へ伝える重要な役割をしており、そこに使われる材料を「路盤材」といいます。路盤は、上層路盤と下層路盤に分けられており、上層路盤には支持率の大きい良質な材料（粒度調整碎石）が使用され、下層路盤にはクラッシャーランなど比較的安価な材料が使用されます。



## 路盤材料試験

### （粒度試験、すりへり減量、締固め、修正CBR、液性・塑性限界）

路盤材の試験は、道路の基礎となる路盤の材料が、環境や荷重に耐える強度と耐久性を持つか評価するものです。当センターでは、主に下記の5項目試験を用いて評価を行っています。

- ★粒度試験 (JIS A 1102) : 路盤材の粒子のバランスと配合を確認
- ★すりへり減量 (JIS A 1121) : 路盤材の耐摩耗性を確認
- ★締固め試験 (JIS A 1210・JGS 0711) : 路盤材の最大乾燥密度と最適含水比を確認
- ★修正CBR (JIS A 1211) : 路盤材の支持力を確認
- ★液性・塑性限界 (JIS A 1205・JGS 0141) : 路盤材に粘土分が含まれていないか確認



写真-1 粒度試験

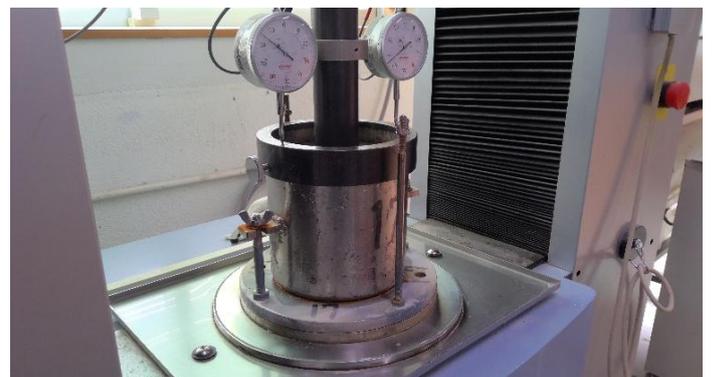


写真-2 修正CBR